


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社Wing	事業所番号	2812200836
住 所	加古川市平岡町中野250-2	管理者名	西出 達也
電話番号	079-440-7001	対象年度	令和2年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 加古川卸市場</p> <p>実施日程 週5日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>利用者数 等</p> <p>海外に出荷する日本製品の品質表示の張替えや梱包、荷下ろしなど、事業所の90%近くの利用者さんをシフトで週3~5回ほど従事してもらっている。</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> <p>成果物の写真</p> <p>活動内容の追加コメント</p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 外部での作業体験だけでなく、社会に障害のある人の働く力や様子を見てもらい、交流することで偏見をなくし社会の参加の機会につなげる</p> <p>地域にとってのメリット 福祉作業所の存在や障害のある人と実際に交流して偏見なくし障害者に対する知識を得てもらい共生社会構築につなげる</p> <p>対象者にとってのメリット</p> <p>社会参加や体験を積みあげること非常に有効と考える</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 地域に働く資源として障害のある人が存在していることや就労継続支援A型事業所の存在を広報できた。作業の種類が慣れ事業所以外の環境で働く体験を得られた</p> <p>得られた成果 就労継続支援の存在と働き手としての障害者の存在の認識を地域の企業に広げられた。</p> <p>課題点 働き手として一般の労働者と同じようにできるという認識が企業側に懸念がありその部分の考え方を改めてもらう必要があった。まだまだ社会のほうに労働力が劣る、使いにくい、などの偏見がある部分も感じられた。今回連携先の事例に挙げさせてもらった青山商店さんはまだかなりの理解が高い企業さんで、あとウィングが行っている複数の地元企業ではもっとその偏見といえる言動や態度があったことも付け加えたい。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>地元の福祉作業所と連携を複数させてもらっている、作業能力をみせてもらい当初の依頼以外の作業もできそうだと思います。数種類の作業をしてもらい大いに助かっている。これから様々な作業をしてもらおうと助かるので長くお付き合いしたいと思っている。課題は来てもらっている方の労働力に差があるように感じたが指導員さんが気を配っておられる様子がわかりました。</p>	<p>担当の青山さんのコメント「大変助かっている、連携を強めたい」</p>	
青山商店	担当者名	青山 幸司